

## 傳八戀の引窓

此の通俗劇を翫右衛門はよく演じてゐるが、それだけに此の芝居に彼の精力を浪費させるのは惜しいと思ふ。國太郎もこんな一寸風變りな役をさせると上手だ。芳三郎は今歌舞伎の二枚目で此の人以上に美しい人は一寸見當らぬし、する事も嫌味がなくてよい。助藏、莚司、殊に進五郎と來ては無類に上手だ。上手なだけに物でもあまり傑作ではない、此の劇を演らせる事は呉々も惜しい。

うそくらぶ

A

春秋座公演に於て澤村源之助が拙劣極まる演

技をなしたのは、優が松竹重役木村錦花氏の令息であるため、東寶系の劇場で下手な芝居をして客足を薄くさせようとしたもので、優の主に忠、父に孝なる所業は、重盛以上なりと絶讃せられてゐる。

B

河合武雄と七月の東京歌舞伎座に合同出演する筈であつた市川猿之助が、急に病氣休演を申出たのは實は嘘で、本當は猿之助が河合と一座するのを好まなかつたからである。その理由は、滿支巡業に於て十二圓五十錢の入場料を取つた猿之助が、同じく滿支巡業で二圓五十錢しか取らなかつた河合と一座しては、猿之助の格が下ると言ふ點に在る。